

## 北海道函館市 観光タリフ（体験）

名称	ガラスのアクセサリー作り体験
特に関わりのある S D G s (持続可能な開発目標)	  
URL	<a href="https://www.ne.jp/asahi/motomachi/glass/">https://www.ne.jp/asahi/motomachi/glass/</a>
内容	いろいろな形や色のガラスを自由に組み合わせてデザインし、キーホルダーやネックレスなどのオリジナルアクセサリーを作ることができます。作品は当日持ち帰りができます。(都合により郵送の場合もあります。)
参加可能人数	通常最大 120 名
料金	2,100円～3,000円(税込) ※修学旅行生100円引き
実施日・実施期間	通年 ※定休日：火曜(修学旅行の場合は無休)
営業時間	9:00～16:00 ※15:00以降の体験は要予約
所要時間	約45分～90分
場所	函館市大町1-1
交通案内	函館空港より車で約20分, JR函館駅より車で約10分, 市電「末広町」より徒歩約4分
ガイド	体験指導
大型バス駐車	可(周辺駐車場:無料14台 元町観光駐車場 徒歩1分)
外国人対応	通訳がいれば可能(体験可能なメニューが限定されますので要相談)
予約(申込)方法	電話・FAX連絡
問い合わせ先	元町ガラス工房 TEL:0138-27-8836 FAX:0138-27-8837
セールスポイント	自由にデザインできるので、表情豊かで個性的な作品を作ることができます。
写真	

## 【期待される学習効果】

学習段階	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
事前学習・準備	<p>○ガラスについて考えてみる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りにあるガラスで作られている物</li> <li>・どんな物にガラスが使われているか</li> <li>・なぜガラスが使われているか（＝理由）</li> </ul> <p>○ガラス工芸について</p> <p>スタンドグラス，フュージング，トンボ玉など</p> <p>○今回の体験では何を作りたいか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰のために</li> <li>・キーホルダー，ストラップなど</li> </ul>		
現地での学び・体験	<p>○スタッフの指導の下に体験してみる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を作るにあたって，注意すべき点を学び，自分でデザインしてみる</li> <li>・どのような材料と工程で作品が出来上がるのかを体験を通し学ぶ</li> </ul>		
事後学習・まとめ	<p>○実際に体験を通して感じたこと，思ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大変だった点，難しかった点，面白かった点</li> </ul> <p>○体験を通してもう一度，身の回りのガラスについて考えてみる</p> <p>○家族などでもう一度作るとしたら何を作りたいか</p>		

※ 記載の内容は，令和8（2026）4月現在のものです。

## 北海道函館市 観光タリフ（体験）

名称	函館港内一周ペイクルーズ
特に関わりのある S D G s (持続可能な開発目標)	  
URL	<a href="https://www.hakodate-factory.com/bluemoon/">https://www.hakodate-factory.com/bluemoon/</a>
内容	函館港内を周遊する最大136名乗船できる観光遊覧船「ブルームーン」。デッキに出て海の風を感じながら、表情の違うベイエリアの景色や観光スポットなどを楽しめます。
参加可能人数	最大136名
料金	大人（中学生以上）3,000円, 小人（小学生）1,500円 ※団体割引あり（15名以上, 引率者半額割引）
実施日・実施期間	4月下旬～11月下旬
営業時間	10:30～18:30
所要時間	約40分
場所	函館市末広町14-17
交通案内	函館空港より車で約25分, JR函館駅より徒歩約20分, 市電「末広町」より徒歩約5分
ガイド	船内放送にて対応
大型バス駐車	無
外国人対応	無
予約（申込）方法	団体でのご利用の場合, 事前にFAXでの申し込み
問い合わせ先	観光遊覧船ブルームーン TEL: 0138-26-6161 ※休業中（12月～3月） TEL: 0138-23-4338
セールスポイント	海の街函館の優雅なクルージングは心に残る思い出になります。
写真	

## 【期待される学習効果】

学習段階	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
事前学習・準備	<ul style="list-style-type: none"><li>・函館港の開港の歴史について</li><li>・函館港への出航する船や商業利用について</li><li>・函館どっく函館造船所について</li><li>・船体に障がい者のアート作品をデザイン</li></ul>		
現地での学び・体験	<ul style="list-style-type: none"><li>・海から見た函館の街並み，函館山を見学</li><li>・函館どっく工場見学</li><li>・大型客船との出会い</li><li>・障がい者のアート作品との出会い</li></ul>		
事後学習・まとめ			

※ 記載の内容は，令和8（2026）4月現在のものです。

## 北海道函館市 観光タリフ（体験）

名称	和洋モダン衣装体験		
特に関わりのある S D G s (持続可能な開発目標)			
URL	<a href="https://m-modern.com/">https://m-modern.com/</a>		
内容	本格的な和装や豪華なドレスなど、400着以上の衣装をお手頃価格でレンタルできます。プロによる着付け・ヘアセットで変身後、まちあるきも楽しめます。		
参加可能人数	通常：団体30人，個人30人 感染症対策時期：団体10人，個人30人		
料金	子供サイズ（110cm～130cm）：1時間3,300円～ 大人サイズ（140cm～）：1時間4,400円～		
実施日・実施期間	通年 ※臨時休業あり		
営業時間	通常 10:00～18:00，最終受付16:30 感染症対策時期 10:00～17:00，最終受付15:00		
所要時間	約90～120分		
場所	函館市豊川町11-17はこだて明治館2階		
交通案内	函館空港より車で約20分，JR函館駅より車で約5分，市電「十字街」より徒歩約5分		
ガイド	着替え終わったら，当店のスタッフがお客様のデジカメやスマホで5枚ほどサービスで撮影を致します。所要時間は5～10分，全員の集合写真		
大型バス駐車	可（周辺駐車場：有料）		
外国人対応	HP：英語版，中国語（繁体字・簡体字）版，ポルトガル語版あり		
予約（申込）方法	電話・メール・LINE連絡		
問い合わせ先	函館和洋モダン貸衣装館 TEL：0138-40-5120		
セールスポイント	衣装体験で袴姿のハイカラさんやプリンセスで夢の時間，何度も見返したくなる思い出写真であなたの旅に彩りを加えませんか？「夢」実現をプロデュースするのは，ブライダル会場で活躍中の優しいプロ集団スタッフと豪華な衣装です。		
写真			

## 【期待される学習効果】

学習段階	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
事前学習・準備	鎖国をしていた日本が、ペリー来航によって日米神話条約が結ばれ、函館と下田が開港。それによって函館には様々な国から文化が入り込み、異国情緒たっぷりの街並みが残った。その当時の歴史や文化を学ぶ。		
現地での学び・体験	事前学習で学んだ歴史を思い浮かべながら、当時着ていたであろうと思われるような衣装を着て街並みに出かけ写真などを撮ると、まるでタイムスリップをしたかのような感覚を体験できる。当時の人たちへの思いを察することができる。和洋折衷の建造物などがより一層素敵に見える。		
事後学習・まとめ	歴史や文化に興味湧き、更に学んでみようと思える。 豪華な着物やドレスに触れ、着付けやヘアセットのプロの技を体験するなど、本物を実感することで様々な方面で良い影響が出る。いつまでも忘れられない思い出となる。		

※ 記載の内容は、令和8年（2026年）4月現在のものです。

## 北海道函館市 観光タリフ（体験）


名称	函館市内を着物で散策
特に関わりのある S D G s (持続可能な開発目標)	  
URL	<a href="https://mikimon7.wixsite.com/aturaean">https://mikimon7.wixsite.com/aturaean</a>
内容	浴衣や着物をレンタルして着付けのサービスを受けた後、お着物姿で周辺にある西部地区の観光スポットや赤レンガ倉庫群などの街歩きを楽しむことができます。着付けは約20分ほどで、着物に合わせた履物や小物類などの一式込みです。
参加可能人数	定員20名（増員は要相談で可能）
料金	浴衣・カジュアル着物：3,500円～，着物：5,000円～
実施日・実施期間	通年 ※定休日：無休
営業時間	平日11:00～16:00，土日祝11:00～16:00
所要時間	約5時間
場所	函館市青柳町24-17
交通案内	函館空港より車で約20分，JR函館駅より車で約5分，市電「宝来町」より徒歩約5分
ガイド	無（自由散策）
大型バス駐車	無（ただし、幅員約13mの前面道路に路上駐車可能。）
外国人対応	無
予約（申込）方法	電話連絡
問い合わせ先	あつらゑ庵（代表 橋本祐子）TEL：090-5985-2000
セールスポイント	着物着付け技能士1級の国家資格を持ち、小中学校にて着物文化等の講義などの講師活動を行っている着付け士が着物をしっかりと美しく着付け致します。
写真	  

## 【期待される学習効果】

学習段階	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
事前学習・準備	<p>○日本古来の伝統文化の着物について学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・日本における着物の誕生から発展する移り変わりなど、着物の歴史を学ぶ。</li><li>・四季折々と普段の生活のTPOに合わせた着物や帯等の取り合わせなどを学習する。</li></ul>		
現地での学び・体験	<p>○着物を着て散策しながら、函館市の街並みや歴史等を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・世界に発信できる日本文化の着物を着て、日本人の和を大切にしている心などを肌で感じ、体験する。</li><li>・着物を着て時代を遡った先人の心意気等を実感しながら、函館市内の西部地区にある歴史的建造物等を散策するなど、函館市内の古くから続く街並みや歴史を学習する。</li></ul>		
事後学習・まとめ	<p>○古くから伝わる日本伝統文化の良さを学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・明治維新以降、西洋文化を多く取り入れた日本であったが、着物を通じて、現代に生きる日本人として、後世に残すべき大切な物について、学習する。</li></ul>		

※ 記載の内容は、令和8年（2026年）4月現在のものです。

## 北海道函館市 観光タリフ（体験）

名 称	摩周丸船内ガイドツアー
特に関わりのある S D G s (持続可能な開発目標)	
U R L	<a href="https://mashumaru.com/">https://mashumaru.com/</a>
内 容	元船長などから青函連絡船の歴史やしくみ、操船方法などを聞きながら船内を見学できます。
参加可能人数	8人
料 金	通常入館料金：一般500円，児童・生徒250円 団体割引料金：一般400円，児童・生徒200円 ※20名以上
実施日・実施期間	通年 ※4月中旬に船舶検査等のため臨時休館あり。 また、悪天候の時など臨時休館することがあります。
営 業 時 間	8：30～18：00（4～10月） 9：00～17：00（11～3月） ※ 変更または休館になる場合あり
所 要 時 間	約60分
場 所	函館市若松町12番地先
交 通 案 内	函館空港より車で約20分，JR函館駅から徒歩約4分，市電「函館駅前」より徒歩約5分
ガ イ ド	所要時間：約60分，料金：入館料のみで参加可 対応人数：8人
大型バス駐車	不可。函館クルーズ船ターミナル大型バス駐車場が乗降場として利用可。ただしクルーズ船着岸時は利用できないことがあります。
外国人対応	無
予約（申込）方法	予約サイト「 <a href="https://reserva.be/renrakusen">https://reserva.be/renrakusen</a> 」，またはFAX
問い合わせ先	TEL：0138-27-2500 FAX：0138-27-2550 メール：info@mashumaru.com
セールスポイント	実際に津軽海峡を航行していた青函連絡船に乗船することができます。

写

真



### 【期待される学習効果】

学習段階	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
事前学習・準備	<p>青函連絡船および摩周丸の歴史や展示内容など、ホームページ内に掲載されております。(https://mashumaru.com/)</p> <p>必要に応じて、事前に情報収集していただくことで、理解度が向上するものと思われます。</p>		
現地での学び・体験	<p>実際に乗船して、見て、触って、体験することができます。</p> <p>もと青函連絡船乗組員のナビゲーター（説明員）がいますので、疑問に思ったことはお気軽に質問できます。</p> <p>なお、ガイドツアーを希望される場合は、事前予約をお願いします。</p>		
事後学習・まとめ	<p>青函連絡船は本州と北海道を結ぶ物流の大動脈で、北海道の開拓や日本経済の発展に大きく貢献しました。</p> <p>また、摩周丸などの津軽丸型と言われる連絡船は、造船当時（昭和 39 年頃）の最高技術の粋を結集した船で、その高性能に世界中の造船所が驚きました。</p> <p>これらのことを知って、自ら考えて、そして日本や世界の将来に役立ててほしいと思います。</p>		

## 北海道函館市 観光タリフ（体験）

名称	函館カール・レイモン（工場見学）			
特に関わりのある S D G s （持続可能な開発目標）				
URL	<a href="http://www.raymon.co.jp/factory/">www.raymon.co.jp/factory/</a>			
内容	ハム・ソーセージ製造工程の見学			
参加可能人数	10名様以上			
料金	無料			
実施日・実施期間	通年※定休日：日・水・祝日			
営業時間	10:00～12:00, 13:00～16:00（最終入場15:00） 毎週土15:00（最終入場14:00）			
所要時間	約60分			
場所	函館市鈴蘭丘町3-92			
交通案内	函館空港より車で20分, JR函館駅より車で30分			
大型バス駐車	可（無料, 30台）			
ガイド	団体10名様以上でガイド付き可			
外国人対応	無			
予約（申込）方法	3日前予約※10名以上は予約必要			
問い合わせ先	函館カール・レイモン工場 TEL: 0120-39-4186 FAX: 0138-55-0333			
セールスポイント	団体10名様以上のご予約で、お土産のご用意あり。			
写真	   			

## 北海道函館市 観光タリフ（体験）


名称	はこだて焼きピロシキ作り体験
特に関わりのある S D G s (持続可能な開発目標)	  
URL	<a href="https://www.facebook.com/marutamapro/">https://www.facebook.com/marutamapro/</a>
内容	日本で一番最初にロシア領事館が置かれた函館で、ロシアのソウルフードである焼きピロシキ作り体験ができます。
参加可能人数	6人～10人程度
料金	1,500円（税別）
実施日・実施期間	通年 ※水曜日定休，定休日でも対応可
営業時間	11:00～18:00
所要時間	約40分～50分 ※発酵・焼成に45分程度時間を要するため，体験終了後は周辺の散策等をするなどして，時間を見て引き取りが必要になります。
場所	函館市元町2-9
交通案内	函館市電「十字街」より徒歩約10分
ガイド	スタッフが作り方のご説明をいたします。
体験メニュー	はこだて焼きピロシキ作り体験（2個）
大型バス駐車	可（函館山麓観光駐車場：有料）
外国人対応	スタッフにより対応可能（英語）
予約（申込）方法	電話予約 ※5日前まで
問い合わせ先	0138-76-3749
セールスポイント	用意されたカラフルな道南産の食材を使い，自分好みのオリジナルはこだて焼きピロシキを作ることができます。
写真	

## 【期待される学習効果】

学習段階	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
事前学習・準備	<p>事前に下記URLにて情報収集していただくことで理解度が深まります。</p> <p><a href="https://gourmet.hakobura.jp/news/20171219hyp/">https://gourmet.hakobura.jp/news/20171219hyp/</a></p>		
現地での学び・体験	<p>函館は日本で最初にロシア領事館が置かれた歴史があり、函館とロシアの繋がりについて学べるほか、具材として用意された道南産の食材についても学ぶことができます。</p> <p>また、ロシアやウクライナに滞在経験のあるスタッフから現地の生活や、本場のピロシキの話を知ることができます。</p>		
事後学習・まとめ	<p>はこだて焼きピロシキは、函館とロシアの歴史的背景から生まれた新ご当地グルメで、使う具材に縛りはなく自由な発想で、自分だけのオリジナルメニューを作ることが可能です。</p> <p>体験を通じて、異文化を学び見聞を広げることや、固定観念にとらわれず創造力を働かせる楽しさを感じて、今後の人生に役立ててほしいと思います。</p>		

※ 記載の内容は、令和8年（2026年）4月現在のものです。

## 北海道函館市 観光タリフ（施設・体験）

名称	函館公園こどものくに空中観覧車
特に関わりのある S D G s (持続可能な開発目標)	
URL	kodomonokuni.sakuraweb.com
内容	函館公園こどものくに内にある「函館公園こどものくに空中観覧車」は国の登録有形文化財に指定されている、日本で最も古い観覧車です。 小・中学校の修学旅行生は、函館の古き良き街並みや歴史に興味を持って頂く為、日本最古の観覧車に無料で乗車できます。 国内では珍しい長椅子型のゴンドラが8つ付き、頂上からは津軽海峡が一望できます。
参加可能人数	利用人数に制限はありません。
料金	小・中学校の修学旅行生は観覧車無料。遊具1回350円。
実施日・実施期間	3月中旬～11月下旬。 ※雨天休園
営業時間	平日：10時30分～16時30分、土日祝：10時～17時
所要時間	約30分～1時間程度
場所	函館市青柳町17-4
交通案内	市電「青柳町」電停から徒歩2分、函館空港から車で30分 JR 函館駅から電車で15分
ガイド	無（観覧車の歴史看板を設置、学習シートの配布、乗車時に簡単な案内あり）
体験メニュー	小・中学校の修学旅行生は観覧車無料。遊具1回350円。
大型バス駐車	無
外国人対応	切符売り場：英語、中国語の案内紙あり
予約（申込）方法	完全予約制ではありませんが、事前に日程を教えていただくと雨天時などに臨機応変に対応させていただきます。
問い合わせ先	0138-22-5039
セールスポイント	函館公園の中にあるレトロな遊園地。昨年は2000人を超える修学旅行生に来園いただきました。観覧車の他にもスリル満点の「アポロ2000」や日本で唯一の「ロータリーチェア」など16種類の遊具で遊ぶことができます。 函館公園は、こどものくにの他にも無料で楽しめる動物園や歴史の勉強ができる博物館など楽しく学べる公園です。

写

真



**【期待される学習効果】**

学習段階	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
事前学習・準備	<p>○市民で作った日本初の洋式公園「函館公園」の歴史について学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ公園を作ったの？</li> <li>・市民で作ったってどういう事？</li> </ul> <p>○製造者不明！？日本最古の観覧車の歴史について学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元々どこに設置されていたのだろうか？</li> <li>・パソコンで白黒の写真を見つけてみよう！</li> </ul>		
現地での学び・体験	<p>○日本最古の観覧車に乗って、函館の古い建物良き歴史を学ぼう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財に乗るといって貴重な体験で、歴史の良さを感じ取ってもらう。</li> </ul> <p>○公園内の散策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物園にいる函館近郊に住んでいる生き物を見ってもらう。</li> <li>・博物館で函館の歴史を感じ学んでもらう。</li> </ul>		
事後学習・まとめ	<p>○函館の興味を持った建造物や歴史を、自分の街にもある古い建造物、良き歴史と比べ、函館の良さ、自分の街の良さを理解する。</p> <p>○なぜ時代とともに技術や建築方法が変わっていったのか調査する。</p>		

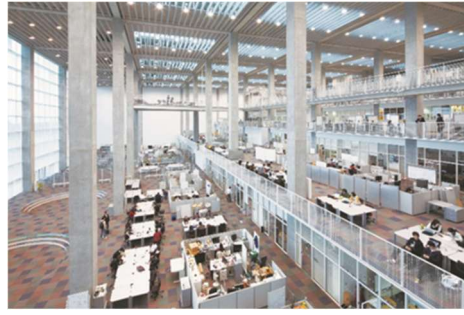
※ 記載の内容は、令和8年（2026年）4月現在のものです。

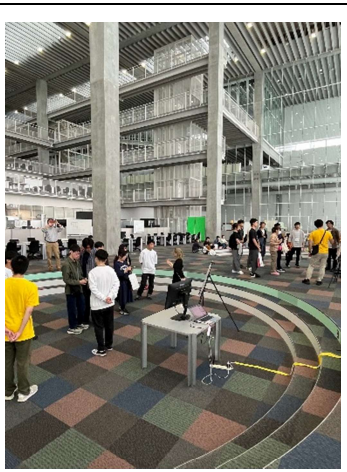
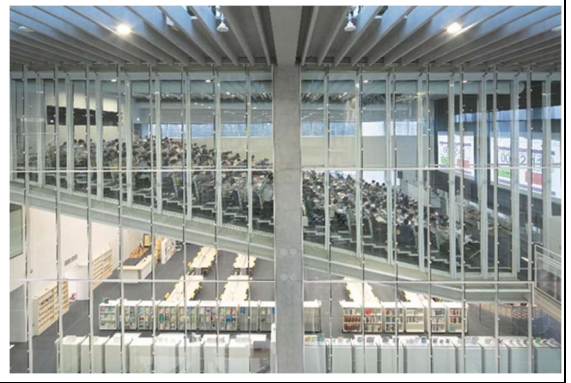
## 北海道函館市 観光タリフ（施設・体験）

名 称	公立はこだて未来大学体験プログラム
特に関わりのある S D G s (持続可能な開発目標)	  
U R L	<a href="https://www.fun.ac.jp/">https://www.fun.ac.jp/</a>
内 容	本学の開放的なキャンパス（学習環境）と専門分野の紹介を行います。
参加可能人数	5～200名（希望する体験メニューによります）
料 金	不要（ただし、学食利用を希望する場合は実費負担となります）
実施日・実施期間	通年に対応します。 ただし、授業のない時期は学生による対応はできない場合があります。
営業時間	大学事務局の開局時間は平日の 8:45～17:30 です。 土日や時間外での希望の場合は事前にご相談ください。
所要時間	1～3時間の中で複数のメニューを体験いただきます。
場 所	公立はこだて未来大学（函館市亀田中野町 116-2）
交通案内	アクセスについては右記 URL をご参照ください。（ <a href="https://www.fun.ac.jp/access/">https://www.fun.ac.jp/access/</a> ）
ガイド	大学職員（入試・広報・就職課 入試・広報担当）が対応しますが、本学学生にガイドを依頼することもできます。
体験メニュー	キャンパスツアー，研究室訪問（研究紹介），プロジェクト学習見学，グループワーク，プログラミング体験，模擬授業，学生による大学生活プレゼンテーション，大学生との進路相談，授業への参加，高校生の探究活動の発表の機会提供
大型バス駐車	可
外国人対応	事前にご相談をお願いします。
予約（申込）方法	下記問い合わせ先まで電話またはメールでご連絡ください。
問い合わせ先	公立はこだて未来大学 入試・広報・就職課 入試・広報担当 (電話) 0138-34-6444 (電子メール) <a href="mailto:pub@fun.ac.jp">pub@fun.ac.jp</a>
セールスポイント	<p>本学では生命・自然・数理・社会・認知・人工物など、多様なシステムを対象に情報科学を基礎とした研究を行っています。情報テクノロジーはもとより、人工知能，データサイエンス，情報セキュリティ，ロボティクス，デザイン，認知科学，複雑系科学といった情報系大学としては国内では類を見ない幅広い研究領域を有し，函館という魅力あるフィールドから「未来のあたりまえ」を発信しています。</p> <p>本学の理念「オープンスペース，オープンマインド」を具現化したガラス張りで開放的なキャンパスは，建築界のノーベル賞と呼ばれる「プリツカー賞」を受賞された世界的建築家の山本理顕氏の設計によるものです。</p>

写

真





## 【期待される学習効果】

学習段階	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
事前学習・準備	<p>未来大の研究分野や取り組み，函館という地域のことを調べて，「どんな問題があり，どう解決できるのか？」という自分なりの問いを考えてみましょう。</p> <p>具体的な研究事例は下記 URL を参照してください。</p> <p><a href="https://www.fun.ac.jp/about/university-for-designing-society/">https://www.fun.ac.jp/about/university-for-designing-society/</a> <a href="https://www.fun.ac.jp/seeds/">https://www.fun.ac.jp/seeds/</a></p>		
現地での学び・体験	<ul style="list-style-type: none"><li>・最先端の「生きた知識」を得ることができます</li><li>・探究のプロセスを知ることができます</li><li>・キャリア形成とこれからの学習のモチベーションにつながります</li><li>・大学という場所を知ることによって高等教育へのスムーズな接続がより可能になります</li></ul>		
事後学習・まとめ	<p>大学は「まだ誰も解決できていないこと」を扱う場所なので，見学を通じて新たな気づきも起こるはず。それが探究に大切な「問いを立てる」ことにつながります。</p> <p>まずは，未来大で実践している研究内容や学生たちの取り組みを自分自身および自分の地域に置き換えて，その「問い」や課題について考えてみましょう。</p>		

※ 記載の内容は，令和8年（2026年）4月現在のものです。

## 北海道函館市 観光タリフ（施設・体験）

名 称	函館工業高等専門学校（函館高専）
特に関わりのある S D G s （持続可能な開発目標）	 
U R L	<a href="https://www.hakodate-ct.ac.jp/">https://www.hakodate-ct.ac.jp/</a>
内 容	高専は、将来活躍するエンジニアを育成する学校です。5年一貫教育を行う「高専」のキャンパスや、高度な実験・実習設備を見学します。エンジニアを目指す学生たちの学習環境に触れ、科学技術への興味を深めます。
参加可能人数	10名～80名程度（クラス単位での調整可）
料 金	無料
実施日・実施期間	平日（学校行事日を除く）
営 業 時 間	9:00～17:00
所 要 時 間	60分～90分程度
場 所	北海道函館市戸倉町14番1号
交 通 案 内	函館空港から車で約5分、函館駅からバスで約30分
ガ イ ド	有（教職員による案内）
体 験 メ ニ ュ ー	学校説明、施設見学（実習工場、実験・実習設備、図書館等）、ミニ実験体験（応相談）
大 型 バ ス 駐 車	可（要事前連絡）
外 国 人 対 応	応相談（英語での学校紹介等）
予 約（申込）方法	公式サイトのお問い合わせフォームまたは電話にて事前予約
問 い 合 わ せ 先	函館高専 学生課 教務係
セ ー ル ス ポ イ ン ト	「15歳から始まるエンジニアへの道」を体感。大学レベルの研究設備や、ロボコン等で活躍する学生の活気ある雰囲気を直接見ることができる貴重な機会です。

写

真



【期待される学習効果】

学習段階	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
事前学習・準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「高専」と「高校」の違いについて調べ、自分が興味のある工学分野（機械、電気電子、情報など）を特定する。</li> <li>・班ごとに見学コースで見たい設備や、現役高専生に聞いてみたい質問リストを作成する。</li> <li>・地域の産業（造船や製造業）と工学教育がどのように結びついているかを考える。</li> </ul>		

<p>現地での学び・体験</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普段見ることができない高度な実験機器を観察し、技術が社会でどう役立っているか理解する。</li> <li>・ 教職員や学生に対し、学習内容や学生生活、将来の夢について積極的に質問する。</li> <li>・ 教科書で学んでいる理科や数学の知識が、実際の「ものづくり」にどう応用されているかを肌で感じる。</li> </ul>
<p>事後学習・まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見学を通じて感じた「将来の職業」や「進路」についての自分の考えをキャリアシートにまとめる。</li> <li>・ 見学で得た発見をプレゼンテーション資料にまとめ、クラス内で共有する。</li> <li>・ 科学技術が SDGs（持続可能な開発）の解決にどう貢献できるかについて、自分の意見を持つ。</li> </ul>

※ 記載の内容は、令和8年（2026年）4月現在のものです。